

短期ビジネス講座 2026

仕事をリデザインする土曜の午後： 社会人のための仕事カブトアップキャンプ

講座概要

土曜の午後、仕事の“これから”を少しでも強くする時間をつくりませんか。地方公立大学が開催する「仕事をリデザインする土曜の午後」は、若手から中堅の社会人が、実務に直結するビジネス基礎力を体系的に学べる全 4 回の対面プログラムです。テーマは、現代のビジネスパーソンに欠かせない 4 領域——仕事を強くするデータ思考、世界を読み解くビジネス思考、地域企業の挑戦をデザインする、そして現場を動かす意思決定力。どれも、日々の業務で「もっとうまくできるはず」と感じている方にこそ役立つ内容です。

データ分析や仮説思考、国際ビジネスの視点、地域企業の戦略、現場改善の判断力など、専門的に見えるテーマも、実践的でわかりやすく学べるよう構成しています。難しい計算や専門用語に気後れする必要はありません。講義と対話を通じて、仕事の現場でそのまま使える“考える力”を身につけていきます。

週に一度、土曜の午後を自分の成長に投資することで、来週の仕事が少し変わる。そんな前向きな学びの場を、大学が地域の皆さまとともにつくります。

未来の自分を鍛えてみませんか。職場を離れ、大学という“俯瞰できる場所”から時代と社会を見つめ直すことで、日々の仕事では得られない気づきが生まれます。「仕事をリデザインする土曜の午後」は、若手から中堅の社会人が、理論と現場をつなぎながら実務に活かせる力を磨くための全 4 回の対面プログラムです。

こんな方におすすめ：

- ・ トップを目指す幹部候補
- ・ 自社の課題解決に挑む方
- ・ 技術者として経営学・経営学の視野を広げたい方
- ・ 部下の成長をサポートしたい方
- ・ 自分のライフステージに合わせた学び直しを目指す方

申込方法など

日 時：10月24日(土)、31日(土)、11月7日(土)、14日(土)
13時～16時10分(第2回は11時50分から。第4回は16時20分まで)

会 場：福井県立大学永平寺キャンパス 地域経済研究所棟 企業交流室 ※対面開催のみ

講 師：福井県立大学教員、学外の専門家 ※講座内容は、講師の都合で変更となる場合があります。

定 員：20名程度(原則先着順)

受 講 料：15,000円(ランチミーティングの昼食代含む)

申込方法：電子メールの本文に①氏名(よみがな)と②住所、③年齢、④メールアドレス、⑤携帯電話番号、⑥勤務先・役職名を全てご記入のうえ、件名(メールタイトル)を「短期ビジネス講座申込」として、kyoiku-e@g.fpu.ac.jp宛てにお送りください。
受講決定後に振込依頼書を送付しますので、これにより受講料を振り込んでください。

受講にあたっては、Excel など表計算ソフトが搭載されたノートパソコンを持参ください。

(不明な場合にはお問い合わせください)

食物に関するアレルギー等あるかたは申込時に連絡ください。

申込期限：2026 年 10 月 13 日（火）

お問い合わせ先：福井県立大学 教育推進課

〒910-1195 福井県吉田郡永平寺町松岡兼定島 4-1-1

電話 0776-61-6000（平日 8 時 30 分～17 時）／電子メール kyoikure@g.fpu.ac.jp

そ の 他：本講座の著作権は、福井県立大学に帰属します。申込時にお知らせいただく個人情報は、本講座以外で使用いたしません。

主 催：福井県立大学経済学部・同大学院

企画コーディネーター：福井県立大学経済学部教授 徳前 元信

福井県立大学経済学部准教授 山崎 淳

福井県立大学経済学部准教授 境 宏恵

特色：三つのメリット

大学ならではの「理論」と「現場」の融合

単なる成功事例の紹介にとどまらず、立ち止まって成功要因を理論的に考えていきます。表面的な問題だけでなく、そこから広がる因果の連鎖も深めて分析します。

幅広い階層のニーズに対応

組織をリードするトップから、次世代を担う中堅・若手スタッフまで、経営革新やキャリアアップを目指す皆さんに対応する汎用性の高い講座です。グローバル人材も地域リーダーも育成することを心掛けます。

土曜日の午後に開講

平日は業務でお忙しい皆さんのために、土曜日の午後に開講します。

受講者間の異業種・異世代のネットワーク作りのメリットもあります。

さらに、異なるバックグラウンドを持つ参加者との議論は見識を広げます。

Curriculum

10 月 24 日（土） 於：地域経済研究所棟 企業交流室

13:00～16:10

・ビジネスのためのデータ分析基礎体力

講師：徳前 元信（本学経済学部教授）・境 宏恵（本学経済学部准教授）

政策立案や経営判断には、データに基づく思考が欠かせません。本講座では、仮説思考を起点にして、Excel®を用いた回帰分析などの基礎的な分析技法を実践的に学びます。データの整理から結果の解釈、現場への応用までを一連の流れで身につけ、ビジネスで求められる“データ分析の基礎体力”を養います。数字を根拠に判断し、説得力ある説明ができる力を育てます。難しそうと思わず、やってみましょう。計算はPCがやってくれます。

10月31日(土) 於：地域経済研究所棟 企業交流室

11:50～12:50

- ・ランチミーティング

13:00～16:10

- ・「経営者目線で事業構想してみる」

講師：山崎 淳（本学経済学部准教授）

激しい環境変化の中、既存のビジネスモデルの延長だけでは企業の存続が難しくなっています。本講座では、持続可能な経営を目指して経営者がどのような視点で環境を捉え、経営を実践しているのかについて理解する場を提供したいと思います。

まずは、「事業とは何か」の理解からはじめて事業構想策定の全体像を解説します。そして自ら事業を構想してみることで理解を深めてもらいます。疑似体験をととして経営者目線を実感できると思います。また、事業構想には多くの人材に関わりますが、事業構想を支える専門人材についても触れてみたいと思います。

11月7日(土) 於：地域経済研究所棟 企業交流室

13:00～16:10

- ・国際ビジネスの観点から中国とどう付き合うか？

講師：加藤 健太郎（本学経済学部教授）

日本と中国とは、政治的には必ずしも良好な関係ではありませんが、経済的には引き続き相互に重要な地位を占めており、政治と経済で非対称的な動向がみられます。こうした状況を踏まえ、中国経済の実態、米中対立の背景や日中の経済関係などを説明した上で、国際ビジネスなどの観点から、これから中国とどう付き合うかについて「経済安全保障」をキーワードに考えます。

11月14日(土) 於：地域経済研究所棟 企業交流室

13:00～16:10

- ・コスト・マネジメントの理論と実際：設備投資と原価企画 原価改善と原価維持

講師：上總 康行（京都大学名誉教授、福井県立大学名誉教授）・木下 和久（本学経済学部教授）

市場競争が激しい場合には、企業は市場価格を自由にコントロールできない。このため、経営者は、利益を確保するため、企業内で発生する全ての費用をコントロールする必要がある。これがコスト・マネジメントである。コスト・マネジメントには、大別して4つの領域がある。設備投資による生産性向上を通じた原価低減、新製品の設計開発段階での原価低減、製造段階での現場改善による原価低減、そして主力製品等の原価維持である。本講義では、コスト・マネジメントの理論と実践をやさしく解説する。あわせて簡単な計算事例を用いて、実務で役立つ計算について考えます。電卓もしくはPC（エクセル）をご持参ください。

16:10～16:20

- ・閉講式
- ・一定の履修条件を満たす方に、後日、受講修了証をお渡しします。